

## 心房細動に対するカテーテル治療 (アブレーション)を導入しました

連携医療機関の先生方にはいつもお世話になっております。今号のWITHでは、循環器科のカテーテル治療をご紹介します。

循環器科では心臓冠動脈から下肢末梢動脈まで、頸部と脳を除いた血管疾患に対する治療を幅広く積極的に行ってきました。しかし高齢化社会に突入し、生活スタイルの欧米化がすすんだことにより、血管疾患のみならず不整脈で悩む患者様も増えてきました。

このような患者様に対して内服薬やペースメーカー植え込みを行ってきましたが、これらでは対応困難な不整脈に遭遇する機会が増えてきました。そのような患者様に対応すべく、当院ではカテーテル治療(アブレーション)を導入し良好な成果を得ております。

当院では、ほぼすべての不整脈に対するアブレーションを施行しております。心房系不整脈の代表である発作性上室性頻拍や心房粗動、加速度的に患者数が増加している心房細動、心室系不整脈の代表である心室期外収縮などに対するアブレーションを施行し、良好な成績を得ております。アブレーションに限らず不整脈治療は専門医の間でも意見が分かれるものが少なくありません。不整脈治療全般についてご相談の際はお気軽に声をおかけください。



### 当院でのアブレーションの特徴と適応

理論上は全て不整脈がアブレーションの対象となりえますが、侵襲度や成功率に大きな差があります。当院ではアブレーションを絶対的治療とは考えておりません。あくまで治療の選択肢の一つとして提示し、協議を繰り返したうえでアブレーションに踏み込むことを心がけています(初見のみでアブレーションを選択することはありません)。

また治療の一貫性をたもてるよう、患者様の初見～治療法の提示と協議～アブレーション～外来通院、これらの工程を同一医師が行うよう心掛けています。

## 実際に当院で施行したアブレーション

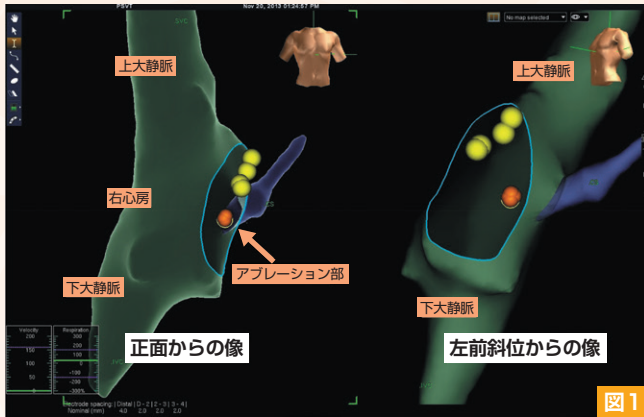


図1 発作性上室性頻拍へのアブレーション

矢印部でのアブレーションを施行しました。治療後、発作性上室性頻拍の再発はありません。

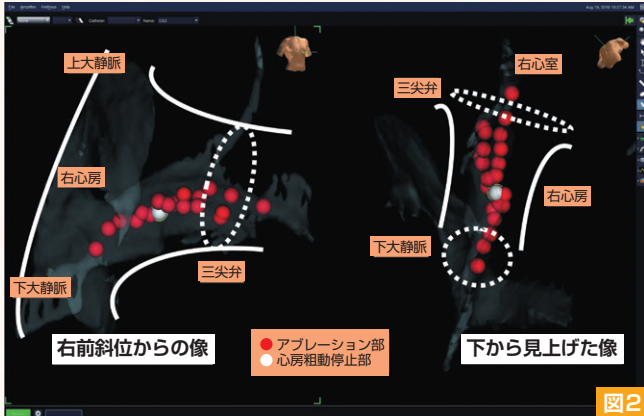


図2 心房粗動へのアブレーション

三尖弁から下大静脈にかけての線状アブレーションを施行しました。特に白丸部でのアブレーションにより心房粗動は完全停止し、以後の再発はありません。

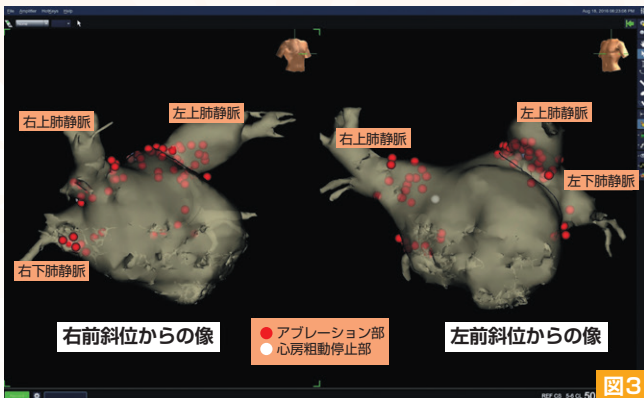


図3 心房細動へのアブレーション

肺静脈と左心房の境界を囲むように、多点でアブレーションを施行しました。左前斜位像にしめす白丸部でのアブレーションにより心房細動は完全停止し、以後の再発はありません。

### ■外来診療体制 (平成28年10月1日現在) 【循環器科】

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日
担 当 医	アサ ハラ トシ ユキ 浅原 敏之	ク ジ メ シン ゴ 久次米 真吾	ウ ツ ノ ミヤ マコト 宇都宮 誠	アサ ハラ トシ ユキ 浅原 敏之	ヨシ タマ タカシ 吉 玉 隆
	ク ジ メ シン ゴ 久次米 真吾	ウ ツ ノ ミヤ マコト 宇都宮 誠	ヨシ タマ タカシ 吉 玉 隆		ヤマ シタ ユウ ジ 山下 雄司
受付時間	8:15 ~ 11:00				

#### ■ご紹介について

事前のご予約をお勧めいたします。診察のご予約は希望日の前日15:00まで承ります。  
なお、直接ご来院される場合は、受付時間内に総合受付「①番窓口」にて受付手続きを行ってください。

#### ■ご予約・お問い合わせ

東京労災病院 地域医療連携室 ※月～金曜日8:15～17:00  
電話:03-3742-7129 (直通) FAX:03-3742-7314 (直通)